

日本鐵鋼協會記事

理事会 8月3日(水曜日)午後4時30分開會 **出席者** 河村驍君 種子田右八郎君 渡邊三郎君 今泉嘉一郎君 **協議事項** (1) 日本鐵鋼協會第三回講演大會開催に關する件 (2) 本會第二回研究部會開催に關する件 (3) 會員移動入退會者承認 (4) 其他會務に關する諸件

以上等にして午後7時30分閉會す。

編輯委員會 8月3日(水曜日)午後5時開會 **出席者** 川上義弘君 室井嘉治馬君 杉村伊兵衛君 **協議事項** (1) 鐵と鋼第十三年第八號掲載原稿選定の件 (2) 本會第三回講演大會準備に關する件 (3) 本會第二回研究部會に關する件。

入會承認濟者

| 居所或は宛名先 | 勤務先並職業 | 稱號 | 會員別 | 氏名 | 紹介者 |
|----------------------|-------------|-----|-----|------------|----------------|
| 名古屋市南區熱田東町字丸山大同電氣製鋼所 | 大同電氣製鋼所 | 工學士 | 正 | 林 達 夫君 | 深田 辦三 竹内 保資 |
| 府下荏原郡世田ヶ谷町字世田ヶ谷一〇七三 | 鐵道省工作局車輛課技師 | 工學士 | 正 | 山 口 貫 一君 | 鹽田 泰介 河村 驍 |
| 名古屋市南區熱田東町字丸山大同電氣製鋼所 | 大同電氣製鋼所 | 工學士 | 准 | 久 保 田 政 一君 | 竹内 保資 |
| 名古屋市中區東田町一丁目二一小島方 | 〃 | | 准 | 大 谷 正君 | 竹内 保資 |

退會承認濟者

正會員 永井又次郎 田口由三 堀尙靖 中井浩 **准會員** 緒方秀雄 乃木精一 三浦勝 原俊成 小屋原總三郎

死亡 准會員 大野政太郎君 同氏の逝去せられたるは誠に哀悼の至りなり茲に謹で弔意を表す。

御尋ね 本會准會員岩崎義家君 同堀江莊之助君以上二氏居所不明にて會誌發送致し難きに付御存じの方は乍御手数御一報願上候。

國産振興會より提出の議院建築に付建議書及回答 目下政府に於て工事進行中に係る帝國議會の建築材料を國産品採用方同會より建議したる其建議書及回答下に掲載の通り。

議院建築に付建議書

目下政府に於て工事進行中に係る帝國議會の建築は大正、昭和兩時代の代表的建築として之を世界に示し且永く後世に傳ふべきものなるのみならず之を國民的矜持の上より云ふも其材料は原則として國産品が使用せらるべきは言を俟たざる所なりと信ず然れ共多くの材料中國内に於て未だ製作不完成の爲に御採用に躊躇せらるゝものありとせば其品種と其理由とを御指示相成度然る時は本會に於ては直ちに斯業關係者に其旨を説明し議院建築に於て該品を必要とせらるゝ時期迄に是非共其品質の改善を遂げしめ帝國議會の建築をして完全なる國産品たらしむる様當業者を指導獎勵致度き希望に付此趣

旨御諒承の上何分の御回答相煩はし度此段得貴意申候 敬白

(追て中央諸官衙の建築に就ても本文の趣旨御考慮相成度申添候)

昭和2年6月30日 國產振興會會長男爵 阪谷芳郎田 大藏大臣及營繕管財局長官各宛

回 答

營管總第966號 昭和2年7月26日 營繕管財局長官 黒田 英雄

國產振興會會長男爵 阪谷芳郎殿

國産品採用に關し回答の件

昭和2年6月30日附を以て議院建築に際し其材料として國産品採用方に關し御申出相成候處議院建築に際しては其の當初より「已むを得ざるものゝ外は總て國産品を使用すべし」と議決相成居り現に鐵骨鋼材製造及加工共に約9,400餘廻は外國品を使用するよりも多大の日子を要するにも拘らず製鐵所製造品を採擇使用し其の塗料たる「黒鉛ペイント」も亦國産品を指定し現在使用中の外装石材また國産に係り今後使用の裝飾用石材に於ても既に多大の經費を投じ汎く國內に調査し之れを採用する豫定にして猶ほ向後使用の分に於ても已むを得ざるものゝ外は國産奨勵の主旨に有之候條左様御了知相成度尤も壁紙の如く適當なる國産極めて少く之れが製造を奨勵するも需要供給相伴はざるものは格別として、優良品製造に曙光を認め得らるゝ建具金物、厚板硝子及色硝子の優良品、品等優良褪色なき絨氈、防濕紙布の如きアスワルト製品の高級品等は將來の需用に鑑み益國産奨勵相成る様致度と被存候猶ほ中央——諸官廳の建築に就ても議院建築同一の方針に基き成るべく國産品に俟つ豫定に有之候に付茲に申添候也。